

富山大学薬学部 学生後援会

平成 28 年度 (第 19 回) 総 会

平成 28 年 4 月 7 日 (木) 午後 1 時 30 分より
富山大学杉谷キャンパス看護棟 1 階 10 番講義室

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 平成 27 年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 平成 27 年度会計報告 (p. 10)
監査報告 (p. 13)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
 - 5-4. 平成 28 年度事業予定 (案) 審議 (p. 15)
 - 5-5. 平成 28 年度予算 (案) 審議 (p. 18)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 21)
 - 6-2. 学生の保証人 (親権者等) への成績通知について (p. 22)
7. 閉会

総会終了後, 御質問・御要望などに関して自由討論

はじめに、所用によりご欠席である定村会長の代理として、定村富子様から挨拶があった。その後、細谷薬学部長より薬学部の現状（学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況、研究室の体制など）に関する説明があった。続いて、定村会長の代理として廣瀬学内理事が議長となり、総会が進行された。

5. 議事

5-1. 平成 27 年度事業報告

1. 平成 27 年度（第 18 回）総会の報告

平成 27 年 4 月 8 日（水）、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 27 年度総会を看護棟 2 階 22 講義室において開催しました。新会員（新入学生保護者）の他、薬学部教員も多数出席して行われました。細谷薬学部長より薬学部の現状（薬剤師国家試験や就職状況など）に関するお話がありました。その後、安倍会長の代理として南部学内理事が議長に選出され審議に入り、平成 26 年度の事業報告と決算の承認、ついで 27 年度の正会員理事 32 名、教職員理事 9 名（TOEIC 講習補佐を含む）が承認されました。ついで、事業計画と予算の審議に入り、昨年度と同様に国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は約 300 万円、課外活動援助は 70 万円とする等の提案が承認されました。

その後、学内理事により、薬学科 5, 6 年生を対象とした国家試験対策支援のスケジュール、及び TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援についての説明がありました。

5-1. 平成 27 年度事業報告（続き）

学生後援会は、薬剤師国家試験対策や TOEIC 対策、卒業論文発表会を支援しております。

2. 平成 27 年度活動報告

課外教育（国家試験対策）

薬学部 6 年制導入後の第五期生が 2015 年度に最終学年を迎え、2016 年 2 月 27 日及び 28 日に新卒者 54 名（および既卒者 16 名）が薬剤師国家試験を受験しました。先日、3 月 28 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です（前々回全国合格率：60.84 %、前回全国合格率：63.17 %、今回全国合格率：76.85 %、詳細は略）。

2015 年度に学生後援会として、薬学科 6 年次生向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール： 講義(44コマ)11日間、模擬試験(5回)8日間
新卒者54名および既卒者3名の計57名が受講。

費用（詳細は略）

学生後援会では新卒者を対象に国家試験対策費用の支援を行っています。平成 27 年度は 836,490 円（新卒者一人につき約 15,490 円相当）を支援致しました。

5-1. 平成 27 年度事業報告 (続き)

2. 平成 27 年度活動報告 (続き)

課外教育 (TOEIC 支援)

A. 報告

1) TOEIC 講習会 (2015 年 11 月 7 日 (土))

- 企画概要: ①創薬科学科学生の就職対策支援として TOEIC 講習会, 学内 IP テストを企画・支援。
 ②薬学科学生も参加可能 (講習会 5000 円の参加費, 学内 IP テストは実費で参加)。
 ③入門&スコアアップコースの 2 クラス制での実施 (今年で 3 年目)。
 ④外部講師に TOEIC 対策の専門講義を依頼 (2 講師, イーオン社, 名古屋)。
 ⑤ 1 クラス分の講師代と添削費を薬学部長裁量経費で対応 (継続)。

実施状況: 参加 24 名 (申込 26 名, 欠席 2 名)。(参考) 昨年 35 名。減少。

・薬学科からの参加 0 名。大学院から 2 名。

詳細:	(1) 入門コース:	創薬科学科 3 年	11 名 (欠 0)	4 年	5 名 (欠 1)
		薬学科 3 年	0 名	4 年	0 名
	(2) スコアアップ:	創薬科学科 3 年	2 名 (欠 0)	4 年	6 名 (欠 1)
		薬学科 3 年	0 名	4 年	0 名
		大学院生	2 名 (欠 0)		

対象別 支援対象 (創薬科学科) 26 名 (欠席 2 名)

支援外 (薬学科・大学院) 2 名 (欠席 0 名)

経費:

① 1 クラス 1 人の講師分+(教材費+事後学習のメール添削費):学生後援会で負担

		単価	計
講師(1名)	5 時間	¥21,600	¥108,000
教材費(テキスト&配布資料)	20 名	¥3,080	¥61,600
教材費(配布資料のみ)	6 名	¥1,030	¥6,180
添削費(入門クラス)	15 名	¥820	¥12,300
交通費(バス:名古屋~富山)	2 回	¥4,630	¥9,260
		小計	¥197,340
合計 (含振り込み手数料:¥864)			¥198,204

注 1:前年度は¥256,094。

注 2:教材費のうちテキスト分は前回での欠席者のものも利用し,今回 20 部のみ購入。

注 3:スコアアップ・クラスの講師代と交通費と添削費は薬学部(学部長裁量経費)で負担。

(学部負担額: ¥124,640)(前年度は¥134,480)。

② 参加費による収入: 10000 円(5000 円×支援外参加者 2 名)。

③ ホテル代 2 名分を後援会で負担: ¥6,500×2 名=¥13,000, 振り込み手数料¥648, 計: **¥13,648**

【講習会についての学生からの評価】 *途中退出者を除く

入門コース (回答数 15)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

	人数	0	0	0	6	9
	%	0%	0%	0%	40%	60%
レッスンに満足?	人数	0	0	0	4	11
	%	0%	0%	0%	27%	73%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	0	4	11
	%	0%	0%	0%	27%	73%

- ・明るく丁寧に教えて下さって良かった。
- ・英語を勉強しないといけないと思いつつ、なかなかやる気が出なかったが、今回のセミナーに出て毎日少しずつでもやろうと思えるようになった。
- ・高校生の頃に行ったオーバーラッピングはついていけなくて途中で断念してしまっていたが、今回教えてもらった方法と教材なら楽しく続けていける気がした。TOEIC の問題を時間内に解くポイント等参考になる事が多くあった(山本様)楽しく TOEIC について学べて良かった。
- ・自分自身、今とても英語力を身につけたいと思っており、又、TOEIC スコアも高得点を取りたいと思っていた為、丁度セミナー

- ・一を聞けて、とても為になる良い機会だった。
- ・自分の英語の弱点を知る事が出来た。特に語彙は一朝一夕で身につくものではないので、これからもトレーニングを続けていきたいと思う。
- ・英語の勉強を始めるきっかけになった。TOEIC を受けてみようと思った。
- ・休憩がもう少し長いと良いなと感じたが、時間が延びてしまう事を考慮すればしようがないなとも思った。講義は非常に有意義だった。
- ・TOEIC の解き方から、音読トレーニング、知識まで幅広く教えてもらった。

スコアアップコース（回答数 8）

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

レッスンに満足？	人数	0	0	0	1	7
	%	0%	0%	0%	13%	88%
レッスンの内容は理解できた？	人数	0	0	0	2	6
	%	0%	0%	0%	25%	75%
教師に満足？	人数	0	0	0	1	7
	%	0%	0%	4%	13%	88%

- ・TOEIC について新しい情報が聞けて良かった。
- ・適度に休憩もあった為、最後まで集中して取り組めた。
- ・早めに 1 度 TOEIC を受けたかった。

2) TOEIC IP テスト（2016 年 1 月 9 日（土）実施）

参加人数：20 名（創薬科学科 3 年：7 名，4 年：13 名）

後援会経費支援：17 名（創薬科学科 3 年：7 名，4 年：10 名）。（昨年度 30 名）

支援経費：受験料 ¥3,395 × 17 名 = ¥57,715，振り込み手数料 ¥864，合計：¥58,579

IP テストの成績：

	①受検者(薬学部全体)		②講習会受講者	
	人数	平均	人数	平均
受検結果	20 名	502.9 点	12 名	506.7 点

- 要点① 500 点を越えられない層がある。（講習会から IP テストまでの学習が不十分なケースも）。
- 要点② 受検者は減少（35→20 名）。平均点（①）は例年なみ（昨年 532.6 点，前々年 488.9 点）。
- （参考）過去の講習会受講者平均：2012 年度 493.8 点，2011 年度 511.2 点。

3) TOEIC の最高点（就職前）の調査（薬・創薬・大学院を問わず就職予定の学生を対象に）

回答者：40 名，うち受検経験者：20 名

受検経験者の得点（IP テストを含む）：

	①受検経験者(薬学部全体)		②2回以上の受検者	
	人数	平均	人数	平均
受検結果	20 名	595.0 点	10 名	609.5 点

- 要点① IP テストだけで止まっている層がある。
- 要点② 受検回数が多いと点数は up。

B. まとめと対策

<p>1. 状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) TOEIC 学習の風土醸成には一定の効果。 2) 学習する層としない層に別れる傾向。 3) 通信指導，IP テストの結果を見ると，学習の不足も目立つ。 <p>2. 対策</p> <p>長期的な学習プロセスを念頭に指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的な獲得点数と学習法についてのアンケート調査の継続。 ・2 年次から大学 WEB 上の TOEIC 対策用プログラムや CALL 教室の対策本の利用を指導。 ・オリエンテーション等で支援体制（制度の紹介，学習アドバイス，CALL 教室・LAN 上の対策教材）を告知。
--

5-1. 平成 27 年度事業報告（続き）

2. 平成 27 年度活動報告（続き）

課外教育（卒論発表会支援）

平成 28 年 2 月 19 日（金）に、平成 27 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習（事前学習）および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表・討論しました。例年通り、活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生（3 年次生を含む）により投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に 1 名、卒業論文優秀発表賞に 5 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 6 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

5-1. 平成 27 年度事業報告（続き）

2. 平成 27 年度活動報告（続き）

課外活動に対する補助金

平成 27 年度の標記補助の金額を以下のように決定し、支給しました（詳細は略）。

奨学資金援助

平成 27 年度の現在における奨学資金貸与はありません。これまでに貸与した方は 22 名であり、貸与中の状況は、以下の通りです（詳細は略）。

広報

薬学部学生後援会のホームページを作製し、情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 27 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

保護者懇談会

大学（杉谷キャンパス）祭開催期間に合わせ、平成 27 年 10 月 24 日（土）の午後 1 時半より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。約 100 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。細谷学部長から薬学部の現状と就職状況についてのお話がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。

また、懇談会終了後、薬学部施設の見学会を行いました。

入会状況

平成 27 年度の新規加入者は 118 名（新入生薬学科 51 名，新入生創薬科学科 45 名，在學生薬学科 9 名，在學生創薬科学科 13 名）（11 月 30 日現在）でした。その後も，在學生薬学科 3 名，在學生創薬科学科 3 名の入会（3 月 15 日現在）を受け付けました。未入会の方には，本会の趣旨をお伝えし，ご入会をお願いしております。

以上の平成 27 年度事業について，各担当理事から報告が行われた。

5-2. 平成 27 年度会計報告

以下、本会計および緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算および監査の報告があった。

平成 27 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 27 年 3 月 1 日 ～ 平成 28 年 2 月 28 日)

収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振込口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告 (財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告 (積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

平成 28 年度役員の選出

役員名簿

正会員理事

会 長：定村 孝 (創薬科学科)

他、副会長 1 名、監事 1 名、理事 26 名

学内理事

副会長：	細谷 健一	(薬学部長)
庶 務：	佐久間 勉	(がん細胞生物学)
入会・人事：	恒枝 宏史	(病態制御薬理学)
課外教育		
国家試験：	田浦 太志	(薬用生物資源学)
TOEIC：	杉森 保	(化学)
TOEIC 講習補佐：	名執 基樹	(独語)
課外活動・奨学資金：	新田 淳美	(薬物治療学)
会 計：	友廣 岳則	(生体認識化学)
広 報：	和田 努	(病態制御薬理学)
監 事：	和田 努	(病態制御薬理学)

会長，副会長および学内外の新理事が承認された。

5-4. 平成 28 年度事業予定 (案) 審議

平成 28 年度事業計画案

1. 課外教育援助〔国家試験対策支援 (薬学科 6 年生対象)〕

平成 28 年度は、新カリキュラム導入後の第 6 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

・平成 28 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
・	5 月末頃	セレクト模試 I (薬学ゼミナール)
・	7 月末頃	セレクト模試 II (薬学ゼミナール)
・	9 月頃	全国統一模擬試験 I (薬学ゼミナール)
・	11 月頃	予備校によるガイダンス
・	11~12 月頃	予備校による講習会
・	12 月中旬頃	全国統一模擬試験 II (薬学ゼミナール)
・平成 29 年	1 月頃	模擬試験 (薬学ゼミナール以外)
・	2 月上旬頃	全国統一模擬試験 III (薬学ゼミナール)
・	2 月下旬頃	第 101 回薬剤師国家試験

平成 27 年度の第 101 回国家試験は、前年度と比較して合格率の全国平均が高まっており、特に物理、化学等の基礎問題でやや平易な問題が増加しました。その一方、理論問題では、グラフ・計算、医薬品構造式に関する問題が例年通り出題され、薬理では新規薬物に関する設問が多く見られました。また治療は症例・処方の問題が多く、検定の問題は難易度が高い傾向があり、長文で読解力を必要とする問題も出題されるなど、深い知識と対応能力が要求されています。さらに実践問題では、科目をまたいだ複合的な設問が多く、また処方せんに検査値が記載されるようになった現場を意識し、検査値を問う問題が出題されるなど、医療の現場を意識し、長期実務実習の成果を問う問題も継続して出題されています。

いずれも付け焼き刃の表面的な理解では対応が難しいことから、学生には早期から現状を伝え、コツコツと地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また 5 年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導致します。

平成 28 年度の国家試験対策は、従来よりスケジュールを早めて好成績を得た過去二年間の対策 (講習会および模擬試験) を踏襲し、講習会では模試の成績に応じ、学生の弱点分野に対する追加講義を開催するなどの支援を行う予定です。本年度は薬学ゼミナール金沢校の開校に伴い、より充実した対策が行えるよう努めます。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 平成 28 年度事業予定 (案) 審議(続き)

平成 28 年度事業計画案 (続き)

1. 課外教育援助[TOEIC 支援]

平成 28 年度では、以下の形で TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

A. 概要

これまでの以下の枠組みを踏襲

1. 創薬科学科の学生が支援対象（講習受講費と 1 回分の教科書代，キャンパステスト 1 回分の支援）。それ以外の薬系学生（3 年次以降の学部学生，大学院生）が講習会に参加を希望する場合には，参加費として 5000 円を求める（教科書代込み）（キャンパステストは自己負担での参加が可能）。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援する（創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む。ただし，2 度目の場合は，教科書代は個人負担となる）。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え，創薬科学科 3 年次ないし 4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする（いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象）。
4. オリエンテーション等で，3 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し，英語学習意識の浸透をはかる。

B. 留意点（★印は特に今年度に留意して取り組むもの）

1. TOEIC 講習会

・ 2 クラス体制で実施。

(1) 入門コース：リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

(2) スコアアップコース：リーディング対策なども加え，TOEIC700 点台を目指す学習法を学ぶ。

・ 1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼（学部長裁量経費等）。

2. IP テスト

・ 講習会 2 ヶ月後の IP テストの創薬科学科学生の受検経費（1 回分）を支援。

3. その他

・ 4 月の学年別オリエンテーション，TOEIC 講習会内（講師に依頼），講座への告知。

・ 2 年次学生に対しても 4 月の学年別オリエンテーションで，TOEIC 対策を学生生活に組み込むよう指導。特に，以下の自己学習環境について説明：

・ 大学 WEB 上の「TOEIC 演習 2000」の利用。

・ CALL 教室の対策ライブラリの活用，など。（★）

・ 自己学習環境の充実化：CALL 教室，図書館の対策図書を充実化させる。（★）

最終的な獲得点数と学習法についてのアンケートを継続して実施。（★）

5-4. 平成 28 年度事業予定（案）審議（続き）

平成 28 年度事業計画案（続き）

2. 課外活動援助

例年通り，各課外活動団体からの申請があれば，薬学部学生の所属数に基づき，既定の範囲内で援助を行う。

3. 奨学資金援助

未返還者への督促を行うとともに，貸与希望者に返還計画の遵守を徹底する。

4. 広報活動

薬学部ホームページを用いて，後援会活動の報告等を活発に行う。

富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5. 保護者懇談会の開催

10 月 22 日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお願いします。

以上，平成 28 年度事業計画が説明され，原案通り承認された。

5-5. 平成 28 年度予算（案）審議

表 4-1. 学生後援会本会計予算（案）

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振込口座会計予算（案）

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（積立の部）（案）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算（案）

<略>

以上，平成 28 年度予算案が原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生, 大学院生の研究活動

学会での受賞等

- ・ 優秀発表賞 (日本薬学会第 135 年会 2015 年 3 月)
渡邊 雄一 (博士後期課程 2 年; 分子細胞機能学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (日本薬学会第 135 年会 2015 年 3 月)
松本 隼 (博士前期課程 2 年; 分子細胞機能学研究室)
- ・ The 8th IAF-J Award (The 8th International Aldosterone Forum in Japan 2015 年 5 月)
石川明香里 (博士前期課程 2 年; 病態制御薬理学研究室)
- ・ 第 10 回学生ベスト発表賞 最優秀発表賞 (第 33 回日本生化学会北陸支部大会 2015 年 5 月)
渡邊 雄一 (博士後期課程 3 年; 分子細胞機能学研究室)
- ・ 学生賞 (日本膜学会第 37 年会 2015 年 5 月)
中尾 裕之 (特別研究学生 博士後期課程 2 年; 生体界面化学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (第 32 回和漢医薬学会学術大会 2015 年 8 月)
楊 熙蒙 (薬学科 5 年; 神経機能学分野)
- ・ 神経化学教育講演優秀発表賞 (第 58 回日本神経化学会大会 2015 年 9 月)
田辺 紀生 (博士後期課程 1 年; 神経機能学分野)
- ・ ポスター賞 銅賞 (アジア植物化学協会発会シンポジウム 2015 年 9 月)
謝 佳 (博士前期課程 2 年; 薬用生物資源学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (第 66 回日本薬理学会北部会 2015 年 9 月)
小野木康弘 (博士後期課程 3 年; 病態制御薬理学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (平成 27 年度有機合成化学北陸セミナー 2015 年 10 月)
小野 直樹 (博士前期課程 1 年; 分子合成化学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (平成 27 年度有機合成化学北陸セミナー 2015 年 10 月)
富永 大介 (博士前期課程 2 年; 薬品製造学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
酒井 晶帆 (博士前期課程 2 年; 応用薬理学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
執行美智子 (博士後期課程 3 年; 神経機能学分野)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
堀田 侑佑 (博士前期課程 2 年; 生体認識化学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
今 寛太 (博士前期課程 2 年; 病態制御薬理学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
下川 育実 (博士前期課程 2 年; 分子合成化学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
島田 浩和 (薬学科 6 年; 薬剤学研究室)
- ・ 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部会第 127 回例会 2015 年 11 月)
山本 翔太 (博士前期課程 2 年; 薬物生理学研究室)
- ・ 優秀発表賞 (第 37 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 2015 年 11 月)
杉浦 裕樹 (博士前期課程 2 年; 生体界面化学研究室)

- ・ 学生賞（膜シンポジウム 2015 2015 年 11 月）
近藤 弘章（博士前期課程 1 年；生体界面化学研究室）
- ・ 若手優秀発表賞（BMB2015 第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会合同大会
2015 年 12 月）
渡邊 雄一（博士後期課程 3 年；分子細胞機能学研究室）

6-2. 学生の保証人（親権者等）への成績通知について（医薬系学務課より）

富山大学では、平成 27 年度から学部学生の修学状況について、2014 年度入学生から学部と保証人との情報共有の観点から、必要に応じて学生の保証人（親権者等）へ成績通知書を送付することとなりました。薬学部では、2 年次以降の毎年 5 月に成績通知書を保証人に郵送する予定です。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付いたします。留年生には、留年の通知、不足単位の内訳、担当教員の所見、相談員からのアドバイスなども添付し、今後の学生生活の励みとなればと考えております。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じます。

2013 年度以前の入学生の保証人の方で、成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込み願います。お申し込みに関しましては、毎年 9 月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。